

# THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

イマジン ローターリー



クラブの未来を描き  
ロータリーを楽しもう

RI会長 ジェニファーE・ジョーンズ 2022～2023

富津中央RC会長 須藤 隆

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12  
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

## No.2709 第30回例会 2023. 3. 16 晴

点 鐘 : 須藤 隆 会長

進 行 : 朝月真次郎 SAA

飯島由美 副SAA

ソング : 我等の生業

お客様 : 市原中央RC 時田清次 様

### 会長挨拶

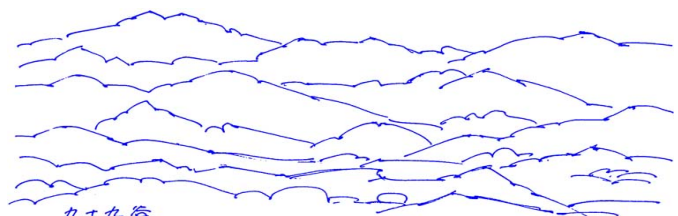
須藤 隆 会長



皆さんこんにちは。お客様として市原中央ロータリークラブの時田様をお迎えしております。時田様はガバナーノミネーデジグネイトで、次次年度にガバナーになる予定です。13日からマスク着用は個人の判断に委ねられておりますが、まだ多くの方はマスクを着用されているようです。東京で桜の開花が発表されました。こちらでは東京の開花から1週間以上は遅れると思いますが、私たち日本人の心に宿る桜との対面を心待ちにしたいと思います。先週木曜日からワールドベースボールクラシックが開催されています。野球好きの私は連日夜遅くまでテ

レビにくぎ付けになって4日間にわたる一次予選を観戦しました。一次予選では、圧倒的な強さを発揮し、グループ1位の侍ジャパンの活躍の中で、大谷選手と佐々木朗希投手の話題性にスポットを当ててみたいと思います。第一が大谷選手の活躍です。大谷選手は、投手と打者の2刀流で活躍し、大リーグで一昨年はMVPに輝き、昨年は打者と投手で規定打席に達し、108年ぶりにベーブルース以来の快挙を達成しました。まさに世界の偉人としてだれもが認める不世出の名選手です。その大谷選手の期待通りの活躍に多くのファンが感動し、熱狂しました。大谷選手の魅力はそれだけではありません。野球選手としての能力だけでなく、持ち前の明るさで、チームメートと気楽に話している姿や、チームの攻守や好打にもろ手を挙げて喜び、ダッグアウトで誰よりも大きな拍手を送ってチームを盛り上げる一挙手一投足がカメラに映し出され、多くのファンがこの大谷選手の仕草に魅了させられるのです。更に、試合後のインタビューで、敗者の中国チームを「素晴らしい野球をしていた」と相手を称え、実力だけでなく、そうした彼の優しさあふれる行動が多くのファンを虜にしているのだと思いました。次に佐々木投手です。彼は12年前の小学生の時に東日本大震災に遭遇し、父と祖父母を同時に亡くしました。中学時代に投手として、球速140Km台を記録し、野球の強豪校からの誘いを断って、地元とのつながりを大切にして地元の大船渡高校に進学し

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3  
いち川旅館  
Ichikawa ryokan  
841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,  
293-0043  
Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178  
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



九十九谷

ました。高校時代に大谷が持っていた高校最速スピードの160Kmを破る163Kmを記録し一躍脚光を浴びました。夏の選抜大会予選の準決勝で相手チームを完封で破り、決勝に臨むも、当時の監督は故障予防のためとして決勝戦に佐々木を登板させず、大船渡高校は決勝で敗れました。高校卒業後ドラフト1位でロッテに入団し、入団3年目の昨年、完全試合を達成、その次の登板では8回まで完全試合を続行し、あわや連続完全試合かと思った矢先、井口監督は8回で降板させ、多くのファンを驚かせました。マスコミは彼をして令和の怪物と称しております。東日本大震災のあった3月11日にWBCの栗山監督は彼をマウンドに送ることにしたのです。あの震災に遭遇し、地元の期待を一身に背負っている彼を、世界に向けて登板させた栗山監督の計らいもさすがと思いました。彼は、4回を投げ、8三振で自責点ゼロの好投をして、監督の期待に応えました。以上野球を通じて、世界に発信する2人の活躍について話をさせて頂きました。

## 幹事報告

相川恵津子 幹事



皆さんこんにちは。今日は市原中央ロータリークラブの時田様ようこそいらっしゃいました。

1. ハイライトよねやま276号
2. 風の便り101号
3. トルコ・シリア地震被災地への災害救援基金、ガバナー会経由の義援金について これは3回目になります。

## ポール・ハリス フェロー賞

栗原典子 会員



## お客様挨拶

市原中央RC 時田清次 様



皆さんこんにちは。24年間ロータリー活動をする中で、何か出来る事は無いかと考え、ガバナーの推薦を受け、申請し、承認をいただきました。ガバナーの役割は、クラブを啓発し、意欲を持たせることなので、色々なクラブをまわってそれぞれのクラブの良さを知り、活性化に繋げていけたらと思います。今後ともご協力の程宜しくお願い致します。

## 卓話

### 『悩める金融業界の歩み』

石井智信 会員



前回の卓話の続きになりますが、私が以前に信託銀行に勤務していた時に体験したことを通じて、金融業界が何に悩み、どんなことを考えていたのかをお話しさせていただければと思います。

<金融当局による検査時代>H9年に山一証券と北海道拓殖銀行が破綻して一気に金融危機が広がりました。そのご日本長期信用銀行や日本債券信用銀行も破綻する一方で、多くの銀行が合併を行うことで生き残りを図り、「みずほ」、「三井住友」「東京三菱」「UFJ」といったメガバンクが誕生しました。しかしながらこれだけでは不良債権の処理が進んだとはいえ、日本の金融システムに対する国際的な信認が戻らない状況下、小泉内閣において竹中平蔵金融担当大臣が特別検査を実施する手法で金融機関に不良債権を一気に処理することを求めてきました。～中略～ この検査によりUFJ銀行が大手小売り会社あての貸出金をめぐり検査忌避としての処分を受け、ひいては東京三菱との合併に追い込まれていく様をかなり身近に感じていましたが、一方で私自身も心身ともに疲れ果ててしまいました。

<金融混迷時代>その後、銀行に対する公的資金の投入も相まって各行の不良債権処理が進み、金融危機は落ち着きましたが、低金利時代に突入していたこともあり銀行は新たな収益確保に向けて動き出します。～中略～ そこで新たな動きとしてあったのは①投資信託の販売、②住宅ローンへの注力、③ビジネスローン(法人向けスコアリングによる融資)の新設、④インベストメントバンク化(投資銀行化)、⑤消費者金融への参入などでした。私はこのうちの消費者金融への参入に係る担当を平成16年8月に命じられましたが、担当してまもなくして国によるグレーゾーン金利の見直しが動き出し、大迷走ははじめます。結局のところ所属していた会社は消費者金融に参入しませんでした。現在メガバンク系の消費者金融があるのは、この時期からの取り組みの流れです。いま振り返ると苦しいことだらけの銀行員時代でしたが、この経験がいまに生きていることをとても実感しています。

## 卓話

### 『ベースボールの日本伝来』

星野 誠 会員



今回のテーマ、野球はいつどこで誕生し、そしてどのようにして今日まで発展、普及されたものなのか簡単にお話ししたいと思います。まず、ベースボールが初めて誕生したのは1845年、今から178年前に遡ります。日本は江戸時代の徳川12代将軍家慶の時代。この頃、アメリカで誕生したというのが諸説ある中での定説とされています。ニューヨークのニック・ボッカー・ベースボールクラブという同好会が組織されたとあります。～中略～ 「日本野球発祥の地(碑文)」に「アメリカメイン州コーラム出身で、自ら志願して南北戦争に従軍した」とあり、南北戦争時代にベースボールを習得し、日本に伝えられたと思われる。こうして日本にベースボールが伝来し、学生を中心に親しまれ各地へ広まって行った。ベースボールを世に普及させた著名人として代表的な人物はやはり「正岡子規」ではないだろうか。～中略～ 子規がプレーをしていた明治20年前後のベースボールは現代の方式やルールとは大きく異なり、打者は好むところを審判官に要求し、打者はその要求した球以外はすべてボールと見做した。今日の打たれまいと投げる投手とは大きく異なり、打者の好む打ちやすいところを要求されるため、一試合が午前11時に始まり夕方終了したり、90対70といった考えられないようなスコアの時代であった。ベースボールに初めて訳語を付けたのは正岡子規ですが、明治19年(1886)「球ボールをもてあそぶ」という意味の「弄球」(ろうきゅう)と名付けます。しかしながらこの呼び名は定着しなかった。その後、明治23年(1890)3月「野球」という漢

字の(ペンネーム)を使ったが、これは「やきゅう」と読ませたのではなく、「野の球(ボール)」すなわち「の・ぼーる」と読ませた。つまり、この呼び名「の・ぼーる」は子規の幼名である「升」を文字ったものであった。いずれにしてもベースボールに「野球」という漢字を当てたのは正岡子規であったが、これを「やきゅう」と読ませたのは子規ではないということになる。では「野球」を「やきゅう」として最初に訳し命名した人物は誰なのか。明治28年(1895)、第一高等学校(元の第一高等中学)の校友会雑誌号外「一高野球部史」で使われたのが最初でそれを使ったのが一高野球部コーチの中馬庚(ちゅうまんかのえ1870-1932)であった。中馬がベースボールを野球と訳したのはいくつかの説がある。一つは「ベースボールはボール・イン・ザ・フィールド野原のボール」だからという説と「テニスはコートでやるから庭球、ベースボールはフィールド」でやるから野球という説があるが、いずれも中馬庚の発案によるものであった。そして中馬はその2年後の明治30年(1897)、ベースボール解説書である「野球」を出版する。これは単行本で刊行された本邦最初の専門書で我が国野球界の歴史的文献とされている。～中略～こうした「ベースボール」そして「野球」は、こうした先人たちの功績により、日本全国に普及し、野球界は大きな発展を遂げました。日本に野球が伝来し150年、今一度、正岡子規、中馬庚に敬意を払いたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

## ニコニコBOX

渡辺哲夫 親睦担当部員



時田清次 25-26年度ガバナー年度に向け各クラブをまわらせて頂いています。よろしくお願ひ致します。

石井智信 卓話をさせて頂き有り難うございます。

星野 誠 //

相川恵津子 市原中央RC時田様をお迎えして。

小野恒靖 //

若鍋武良 //

飯島由美 //

須藤 隆 //

飯島由美 石井会員、星野会員素晴らしい卓話ありがとうございました。

栗原典子 //

小野恒靖 //

白石幸久 市原中央RCの時田様をお迎えして確定申告終わりました

山下 厚 石井会員、星野会員の卓話を聞かせて頂いて

\* > 1,000円 計 18,000円

## 出席報告

久保顯彦 出席担当部員



区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	24/29	16	0	2	82.76%
前回	21/30	12	0	2	70.00%
前々回	21/28	14	0	3	75.00%

出席率の計算式

$\frac{\text{当日出席した会員数} + \text{Makeupした会員数}}{\text{全正会員数} - \text{当日欠席した免除適用会員数}}$